

目次

プロフィール／沿革	1
企業理念／経営の基本方針／ 中長期的な会社の経営戦略	2
業績	3
セグメント情報	4
収益性	5
財政状態	6
配当状況	7
安定性	8
設備投資等	9
キャッシュ・フロー	10
従業員 1 人当たり指標	11
参考資料	12
グローバル・ネットワーク	13
取締役及び執行役／会社概要	14

プロフィール

日立建機のルーツは1949年、日立製作所において純国産技術による機械式ショベルを開発したことに遡ります。その後、1970年に日立製作所から分離・独立し、卓越した技術力を基盤に建設機械の進化に取り組むと共に、世界最適地生産・世界最適地供給体制を確立、世界中のお客様の機械が常に最良のコンディションで稼働できるようにグローバルなサービス体制を充実させてきました。

当社グループは「グローバルトッププレーヤーとして世界中のお客様に信頼される日立建機」を目標に、業界最高水準の利益体質の実現に向け、グループ一丸となって事業を推進しています。

沿革

- 1949** 純国産技術により日立 U05 パワーショベル完成
- 1970** 日立建設機械製造株式会社と(旧)日立建機株式会社が合併し、日立建機株式会社設立
- 1981** 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1987** EX3500 超大型油圧ショベル発売
- 1988** ホイールローダに新規参入
- 1989** 東京証券取引所市場第一部指定
- 1990** 大阪証券取引所市場第一部に上場
- 2000** e-ショベル ZAXIS シリーズ発売
- 2004** 世界最大級、EX8000 超大型油圧ショベル開発
- 2005** TCM 株式会社を連結子会社に
- 2006** 油圧ショベル ZAXIS-3 シリーズ、ホイールローダ ZW シリーズ発売
- 2007** 常陸那珂工場竣工
- 2008** 常陸那珂臨港工場竣工
- 2009** TCM 株式会社を完全子会社に
- 2010** インドのテルコン社を連結子会社に
- 2012** 日立建機株式会社日本事業部と日立建機レック株式会社を統合し、日立建機日本株式会社設立
- 2012** TCM株式会社の全株式を売却